

授業科目名	教育心理学	担当教員名	石上 浩美
必修/選択	必修(幼稚園教諭2種免許/保育士資格)	開講学年・学期	1年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	教育の基礎理解に関する科目-幼児の心身の発達及び学習の過程 保育の対象の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※「子ども家庭支援の心理学」の指導内容を含む
授業の到達目標	<p>1) 教育心理学に関する基礎的な理論と用語を理解することができる。</p> <p>2) いじめ、不登校、体罰といった教育課題や教育時事的な問題に対して、興味・関心を持つことができる。</p> <p>3) 講義内容に関する、予習・復習が習慣化できる。</p> <p>4) 講義時の質疑応答やグループワークに積極的に参加できる。</p> <p>5) 自己の教員イメージを考え、形成しようとする事ができる。</p> <p>1-幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程</p> <p>(1)幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程：幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。</p> <p>①幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。</p> <p>(2)乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。</p> <p>(3)幼児、児童及び生徒の学習の過程：幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。</p> <p>①様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。</p> <p>②主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。</p> <p>③幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。</p> <p>2-子ども家庭支援の心理学</p> <p>(1)生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。</p> <p>(2)家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。</p> <p>(3)子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。</p> <p>(4)子どもの精神保健とその課題について理解する。</p>		
授業の概要	<p>教育心理学とは、「教育現場に役立つための心理学的な知見とアプローチ」について考えるための学問である。</p> <p>それは、保育士・教員として現場に立った時に役立つ実践的な理論であるとともに、いつかどこかで子どもと関わり育む状況になった時にも活用可能なものであってほしいと考える。</p> <p>教育心理学が取り扱う主な内容は、発達・学習・人格・適応・評価である。この講義では、協同学習の理念と手法に基づいた問題解決型の学習展開を目指している。</p> <p>たとえば、「いじめのない学級」を作るためには、どのような指導ができそうなのか、対面・遠隔いずれであっても、話し合い活動(LTD: Learning Through Discusson)を通して、具体的な解決方法を探求する。このような手法にも興味・関心を持ち、積極的に授業に参加することを期待している。</p>		
テキスト	石上浩美・矢野正編著(2019)『教育心理学-保育・学校現場をよりよくするために-』嵯峨野書院 ISBN: 978-4-7823-0559-1		
参考書・参考資料等	非常に多数の文献・資料があるため、講義内で適宜紹介する。		
成績評価の方法	<p>・到達目標標準評価(絶対評価)</p> <p>・授業参加姿勢(コメントカード記入内容20%・中間レポート:30%)</p> <p>・到達度確認テスト:50%</p>		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション：履修上の諸注意、評価方法・基準の説明、保育内容5領域における領域「言葉」「言葉」の位置づけについての概説	(1)-①	
第2回	乳・幼児期の発達：愛着形成・三項関係の成立、ピアジェの発生的認識論(感覚運動期～前操作期)を中心に身体・認知・言語・社会性の発達について	(1)-②	
第3回	児童期の発達：子どもから大人の身体への変化、ピアジェの発生的認識論(具体的操作期～形式的操作期)を中心に身体・認知・言語・社会性の発達について	(1)-②	
第4回	青年期の発達：エリクソンのライフサイクル論を中心に、自我同一性の確立、青年期特有の人間関係・キャリア発達について	(1)-②	
第5回	学習のプロセス：行動主義による学習理論(連合説・認知説)から状況的学習論、社会的構成主義による学習論、記憶、動機づけ学習指導方略について	(2)-①	
第6回	協同学習：協同学習の定義と理論、共同学習を取り入れた授業づくりについて	(2)-①	
第7回	人格の形成：人格の三層、類型論と特性論、仲間集団と人格の発達について	(2)-②	
第8回	適応支援と心理アセスメント：適応のしくみ、心理アセスメントに関する基礎理論、不適応支援と心理療法について	(2)-②	
第9回	障がいを持つ子どもの理解：「障がい」の定義と分類、発達障害(知的障害、自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害、学習症など)、障害理解と支援について	(2)-②	
第10回	教育評価：心理統計(測定と尺度、測定データの処理など)、教育評価に関する基礎理論、新しい評価方法について	(2)-③	
第11回	保育士・教員の養成・採用・研修：保育者・教員養成の現状と課題、	(1)-①	
第12回	子どもを取りまく現状と課題 I (子育て支援・小学校の現場から)	(1)-①	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第13回	子どもを取りまく現状と課題Ⅱ（中・高等学校の現場から）：	(1)-①
第14回	子どもを取りまく現状と課題Ⅱ（ICTの普及による現場環境の変化から）：	(1)-①
第15回	教育心理学Aまとめ 到達度確認テスト	(1)-①
定期試験	定期試験は実施しない	